

履歴書・教育研究業績書記入要領

I 履歴書

履 歴 書

フリガナ			【2】 写真をはる位置 1. 縦40mm、横30mm 2. 本人単身、胸から上 3. 裏面のりづけ
氏 名	【1】		
生年月日(年齢)	【3】 西暦 年 月 日(満 歳)	男・女	
フリガナ			電 話
現住所 (E-mail)	〒 【4】 ()		
フリガナ			電 話
連絡先 (E-mail)	〒 【5】 ()		現住所以外の連絡先 があればご記入をお願い します
学 歴			
年月	事 項		
	【6】		
職 歴			
年月	事 項		
	【7】		
学会及び社会における活動等			
現在所属している学会	【8】		
年月	事 項		
	【9】		
学 位			
年月日	事 項		
	【10】		
免 許・資 格 等			
年月日	事 項		
	【11】		

そ の 他			
【12】			
【13】			
上記のとおり相違ありません。			
西暦	年	月	日
氏名			印

■履歴書の年月・教育研究業績の年月日の記入にあたっては、すべて西暦で記載してください。

■本学専任教員が学内審査用に使用する場合、【2】【4】【5】は不要です。

履 歴 書 記 入 要 領	
【1】 氏 名	① 戸籍名を記載されているとおり、正確に記入してください。 ② 外国籍の方は、日本語でのカタカナ表記及び母国語での表記を記入してください。
【2】 写 真	3か月以内に撮影した正面・無帽・胸から上のもので、縦 40mm×横 30mmのものを貼ってください。 (写真の裏面に氏名を記入してください。)
【3】 生年月日、 年齢、性別	年齢は記入時の満年齢を記入し、また性別を○で囲んでください。
【4】 現住所	① 郵便番号から所番地、アパート名、部屋番号まで正確に記入してください。なお、採用時に転居を予定している方は、(採用時転居予定)と付記ください。 ② E-mail アドレスをお持ちの方は、括弧内に記載してください。
【5】 連絡先	【4】 以外に記載できる連絡先があれば記入してください。
【6】 学 歴	① 高等学校卒業時から(高校卒業に関する記載を含む。)の学歴を記入して下さい。 ② 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科、専攻科、研究生、聴講生を含む。)を有する場合、すべての学歴を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。 ③ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。 ④ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載してください。
【7】 職 歴	この欄は、採用となった場合に給与計算の経歴換算として使用します。 ① すべての職歴(自営業、主婦、無職等も含む。)を記入するとともに、職名、職位、専任・非常勤の別等についても明記してください。 ② 各職歴について在職期間を明確にし、「(西暦)年〇〇月まで」と記入してください。現職については「現在に至る」と記入してくだ

	<p>さい。</p> <p>③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学籍についても記入してください。</p> <p>④ 文部科学省教員組織審査（大学設置・学校法人審議会）において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位、専任・兼任・兼任の別及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む。：合・合・可等）を記入してください。</p> <p>⑤ 大学等教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で併記してください。</p> <p>⑥ 外国での職歴を記入する場合は、名称はアルファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載してください。</p>
--	---

【8】 学会及び社会における活動等	<p>① 所属学会名を正確に記入してください。</p> <p>② 専攻、研究分野等に関連する事項を記入してください。</p> <p>③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。</p>
【9】 賞 罰	<p>① 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。</p> <p>② 特記事項がない場合は「なし」と記入してください。</p>
【10】 学 位	<p>授与された学位及び称号及び大学名等を記入し、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。</p> <p>なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。</p>
【11】 免許・資格等	<p>医師、看護師、教員等の資格について記入し、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。</p>
【12】 その他	<p>【1】 から 【11】 に該当するもの以外の事項について記入してください。</p>
【13】 署名欄	<p>記入内容を御確認いただき、記載日を記入の上、署名、捺印してください。（外国籍の方は、捺印に代えてサインでも結構です。）</p>

II 教育研究業績書

教育研究業績書		
		西暦 年 月 日
		氏名 印
研究分野	研究内容のキーワード	
【ア】		
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
【イ】		
2 作成した教科書, 教材		
【ウ】		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
【エ】		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
【オ】		
5 その他		
【カ】		
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許		
【キ】		
2 特許等		
【ク】		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
【ケ】		
4 その他		
【コ】		

教育研究業績書記入要領	
【ア】研究分野 および研究内容 のキーワード	<p>① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「審査区分表（総表）」の分科レベル名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。</p> <p>② 「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分野レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。</p>
■教育上の能力に関する事項	
<p>■「事項」の項には、各区分に該当する担当（予定）授業科目に関連する教育上の能力に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。</p> <p>■「年月日（西暦）」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。</p> <p>■「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。</p> <p>■非常勤講師に応募の場合は、代表的なもののみを記入し、概要欄を簡潔に記入してください。</p>	
【イ】教育方法の 実践例	<p>① 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等</p> <p>② 法研修所等の教育機関における教育経験</p>
【ウ】作成した教科 書、教材例	<p>授業や研修指導等で使用する著書、教材等。</p> <p>※後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合は、「再掲」と表示して下さい。</p>
【エ】教育上の能力 に関する大学 等の評価	<p>① 各大学における自己点検・評価での評価結果</p> <p>② 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果</p> <p>③ 上記以外で、学内外諸機関等が行った評価等（客観性をもったものについて記入）</p>
【オ】実務の経験を 有する者につ いての特記事 項	<p>① 大学から受け入れた実習生に対する指導（看護・福祉実習，企業実習等）</p> <p>② 企業内教育、大学の公開講座、社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等</p> <p>③ 上記のほか、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導等を広く記入してください。</p>
【カ】その他	<p>① 大学教育に関する団体等における活動</p> <p>② 教育実績に対する表彰等</p> <p>③ 国家試験問題の作成等</p>
■職務上の実績に関する事項	
<p>■「事項」の項には、各区分に該当する担当（予定）授業科目に関連する職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。</p> <p>■「年月日（西暦）」の項には、当該事項に係る実施時期，発表時期，従事期間等を記入してください。</p> <p>■「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。</p> <p>■非常勤講師に応募の場合は、代表的なもののみを記入し、概要欄を簡潔に記入してください。</p> <p>■特に該当するものが無い場合は、「概要」の欄に「なし」と記載してください。</p>	

【キ】資格, 免許	医師、看護師、教員等の資格で担当（予定）授業科目に関連するものを記入してください。
【ク】特許等	特許、実用新案等で担当（予定）授業科目に関連するものを記入してください。
【ケ】実務の経験を有する者についての特記事項	<p>「職歴」欄の事項に記入した中で、担当する教育内容に関する事項について記入してください。下記の記入例を参考に、従事した機関、団体名等を含めて記入してください。</p> <p><記入例></p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業、官公庁等の研究者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・新製品・製法、作物等の新品種などの開発 ・大学との共同研究による研究実績 ●その他, 企業・団体等関係者 <ul style="list-style-type: none"> ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務の経験 ●情報技術者関係の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの開発 ・コンピュータを活用した業務の開発 ●マスコミ関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・執筆した主な記事 ・作成した主な番組 ●医師や看護婦等医療技術者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・症例研究会、ワークショップでの報告や発表 ●福祉その他社会的活動の関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・参加した活動や団体の名称, 活動内容・期間, 自身の当該活動における地位 ●スポーツ等実技関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な大会等における実績 ・指導者としての経歴、実績、資格 ●芸術関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な作品 ・主要なコンクール等における実績 ●博物館, 美術館等関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な展覧会の企画 ・執筆、監修した展覧会図録
【コ】その他	【キ】から【ケ】に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。

■研究業績等に関する事項

著書 ① ② ③ ④ ⑤

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
●●概論 ① ●●概要 とし、以下、通し番号を付す。	単著	2001年5月	◎×書房	…についての入門書として…の視点から総括的に述べた。1980年4月発行の改訂増補版
●●の×× ② ●●の××	共著	2002年5月	▲■書院	…についての…の視点から…の可能性について論究した。担当は「第2章 ××の展望と可能性 (P40~P98)」。(共著者) 山田太朗、鈴木一郎、佐藤花子

学術論文

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
◎◎関係～××の変貌 ① ◎◎関係～… とし、以下、通し番号を付す。	単著	1970年9月	日本◎◎学会誌「▲▲▲」第6巻 4号	××の変化による○▲関係の影響について、○×の立場から論じた。
▲▲学研究の動向 ② ▲▲学研究…	単著	1980年4月	日本×◎学会編「○○▲▲学年報」No.30 1980年度	過去40年間の▲▲に対する統計をまとめ、×◎学研究的動向について展望した。

その他

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
○▲の危機と○×についての一考察	単著	2000年9月	日本○○学会公開シンポジウム (××大学▲▲記念大会)	現代における○▲の危機と○×との関係について、…的にとらえ…するための方法についての一考察を発表した。
○○の××に関する現状と展望	単著	2012年4月	○○新聞 (2012年4月2日 朝刊)	○○の××に関する現状について将来的な展望を含めて論じた。

<p>■著書、学術論文、その他の順に、それぞれ年月順（西暦）（過去→現在）に記入してください。（書類作成時において未発表のものは記入できません。）</p> <p>■著書、学術論文、その他について、それぞれ通し番号を付して記入してください。</p> <p>■手書きの方で用紙が不足する場合は、複写して作成してください。入力される方で不足する場合は、適宜記入欄をコピーして作成してください。</p> <p>■用紙の下に頁を記入してください。</p> <p>■非常勤講師に応募の場合は、直近（過去5年）10程度の著書名、論文名等を記入してください。</p>	
【①】著書、学術論文等の名称	<p>ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、区分ごとに各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。</p> <p>イ 著書については、書名を記入してください。</p> <p>ウ 学術論文については、国際学術誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。</p> <p>エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討議等にあつては当該テーマを記入してください。</p> <p>オ 美術関係等の業績として作品集を提出する場合は、別途1部提出してください。なお、作品集については、審査終了後に返却が可能ですので、提出時にその旨を申し出てください。</p> <p>カ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。</p>
【②】単著、共著の別	<p>当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。当該部分は単著であっても、共著としてください。なお、発表学会等の場合は「-」を記入してください。</p>
【③】発行又は発表年月	<p>当該著書等の発行又は発表の年月（西暦）を記入してください。</p>
【④】発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	<ul style="list-style-type: none"> ●著書 発行所を記入してください。 ●学術論文等 発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。 ●報告発表等 学会大会名、開催場所等を明記してください。
【⑤】概要	<p>概要について明確かつ簡潔に記入してください。 （200字程度で具体的に記入してください。なお、非常勤講師に応募の場合は、50字程度で簡潔に記入してください。）</p> <p>[単著の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数を明記してください。 <p>[共著の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入してください。 ・また、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載され

	<p>た順に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。 <p>なお、外国語で著されている場合、その外国語で記入するとともに（ ）として訳文を記入してください。</p> <p>学位論文の場合は、その旨が明確になるように記入してください。</p>
--	---

Ⅲ 従来の教育及び研究内容の概説と今後の教育及び研究内容に対する抱負

非常勤講師に応募の場合は、記入及び提出の必要はありません。

- ※ 御提出いただいた履歴書等の個人情報は、本学の教員選考のために利用します。
- ※ 採用された方の個人情報については、採用時給与の経歴換算及び採用後の人事管理のために利用します。その他の方の個人情報は、選考終了後、本学が責任を持って廃棄します。

以上